

バイオマスプラスチック容器包装再商品化 システム検討事業（新規）

【バイオマスプラスチック容器包装再商品化システム検討事業
15（0）百万円】

対策のポイント

バイオマスプラスチック回収実験による再商品化システムの構築への課題整理及びLCA（Life Cycle Assessment）調査による環境負荷低減効果の検討等を行います。

（バイオマスプラスチックの現状と課題）

- ・ バイオマスプラスチックは製造コストが高いほか、消費者の認知度も依然として低いこと、再商品化を行うために必要な**市町村における分別収集方法（現在はその他プラスチックと同様に収集）**や**店頭回収方法が確立されていない**ことから、製造量の大幅な増加には至っていません。
- ・ 容器包装リサイクル制度の見直しの検討過程においては、今後の対応の方向性として、「**市町村と連携した高度な処理方法や処理ルートの構築をモデル的に実施すること**」の必要性が議論されたところです。

政策目標

平成21年度までに、食品容器包装におけるバイオマスプラスチック回収システムのあり方を取りまとめ。

< 内容 >

1. 再商品化システム評価委員会の設置

学識経験者、市町村担当者、容器メーカー、食品メーカー等による評価委員会を設置し、バイオマスプラスチック容器の効率的な分別収集方法の評価・検討を行います。

また、バイオマスプラスチック容器包装を用いた食品の販売から容器包装を回収、再商品化されるまでの**実証実験の実施方法、LCAの実施結果等について評価・検討**を行います。

【定 額】

【再商品化システム評価委員会費 3（0）百万円】

2. 再商品化システムを用いたLCA評価実証調査

バイオマスプラスチックの分別収集ボックスを設置し、分別収集からバイオマスプラスチック再生処理施設における再商品化までの**実証実験を行った上で得られたデータを基にLCA評価**を行います。

また、スーパーの店頭、市町村等によって回収した際の回収率や課題等について検討を行います。

【定 額】

【再商品化システムを用いたLCA評価実証調査費 9（0）百万円】

3. 使用実態及び分別回収意向調査

容器包装に利用されているバイオマスプラスチックの**今後の製造・需要動向等に関する調査**及び**市町村のバイオマスプラスチックの分別回収に係る意向調査**を行います。

【定 額】

【使用実態調査及び分別収集意向調査事業費 3（0）百万円】

[担当課：総合食料局食品産業企画課食品環境対策室（03 - 3502 - 8246（直））]